

令和8（2026）年7月31日
総 務 学 事 課第59回（令和8年度）
岡山県三木記念賞受賞者の決定について

故 岡山県知事三木行治氏が受賞されたマグサイサイ賞の賞金等を原資とした基金により、地域社会の発展に貢献した方を顕彰する岡山県三木記念賞について、第59回（令和8年度）受賞者を次のとおり決定した。

1 受賞者決定までの経過

- ・ 4月17日（金） 候補者の募集開始
- ・ 5月15日（金） 推薦締切り ※候補者数7名
- ・ 7月 7日（火） 第1回運営審議会……受賞候補者選考の諮問
- ・ 7月24日（金） 第2回運営審議会……受賞候補者の選考及び答申

2 受賞者（表彰状・メダル及び賞金30万円）

氏 名	年齢※	役 職 等
さの しゅんじ 佐野 俊二	74	昭和医科大学江東豊洲病院 心臓血管外科 特任教授

※発表日時点の年齢

3 授与式

- （1）日 時 令和8年8月31日（月）16時30分から
- （2）場 所 ルネスホール（岡山市北区内山下1-6-20）
- （3）出 席 者 受賞者、知事、議長、過去の受賞者等 約25名

4 その他

今回の受賞者で累計の受賞者は235名となる。

三木記念賞

東京都品川区

さの しゅんじ

佐野 俊二（74歳）

1 主な経歴

昭和57年	9月	兵庫県立尼崎病院 心臓血管外科 副医長
昭和60年	6月	ニュージーランド国 グリーンレーン病院 ^{※1} 心臓胸部外科 (※1 現在、オークランドシティ病院) 研修医
昭和63年	4月	メルボルン大学附属王立小児病院 准教授
平成2年	10月	岡山大学医学部 第2外科 助手
平成15年	10月	岡山大学医学部・歯学部附属病院 副病院長
平成28年	11月	カリフォルニア大学サンフランシスコ校 小児胸部心臓外科 教授
令和4年	1月	昭和大学病院 ^{※2} 小児循環器・成人先天性センター 特任教授
令和6年	4月	昭和大学江東豊洲病院 ^{※2} 循環器センター 心臓血管外科 特任教授（現在に至る） (※2 令和7年4月に昭和大学から昭和医科大学へ校名変更)

2 功績の概要

氏は、昭和52年に岡山大学医学部を卒業、昭和57年に医学博士の称号を得た。昭和60年からニュージーランド国、グリーンレーン病院に2年間留学、昭和62年からオーストラリア国、メルボルン小児病院に研修医として赴任、翌年には日本人初の小児心臓外科スタッフとなった。平成2年に帰国し、平成3年に岡山大学医学部心臓血管外科助手、平成5年に同教授に就任し、岡山大学病院は心臓外科症例数が年間600例を超える日本有数の施設となった。平成28年には、カリフォルニア大学サンフランシスコ校小児心臓血管外科教授として救命した心臓病患者は延べ10,000人（小児8,500人）にも及んだ。

氏の専門は小児心臓外科であり、世界有数の施設でも30～40%以上の死亡率があった左心低形成症候群の画期的な手術法を考案し、治療成績を著明に向上させた。この方法は世界中で行われ、毎年何万人という子どもたちの命が救われている。また、新しい手術法の開発だけでなく、小児心不全患者に対する心筋再生医療の研究でも世界をリードしており、小児心不全患者に対する日本初の心筋再生治療の臨床応用を開始したところ、世界初の成功例となり、心臓移植に代わる治療法として世界中の注目を集めている。

氏は、臨床や研究のみならず、東南アジアの医師、看護師を始めとする医療チーム育成のため、フィリピン、中国、ベトナムなどで精力的に先天性心疾患治療のボランティア活動に取り組んだ。これにより、岡山大学病院とベトナムの主要4施設の循環器病院との間に高度医療友好協定が結ばれ、JICAプロジェクトとしてベトナムの循環器疾患に関わる医師や看護師等の育成支援に繋がる国際的な貢献も果たしている。

氏は、アメリカから令和4年に帰国した後も、昭和医科大学特任教授として若手医師の教育、ベトナム、フィリピンの医療支援などに当たり、今でも精力的に活動を続けており、その功績は日本国内にとどまらず、国際的にも極めて顕著である。